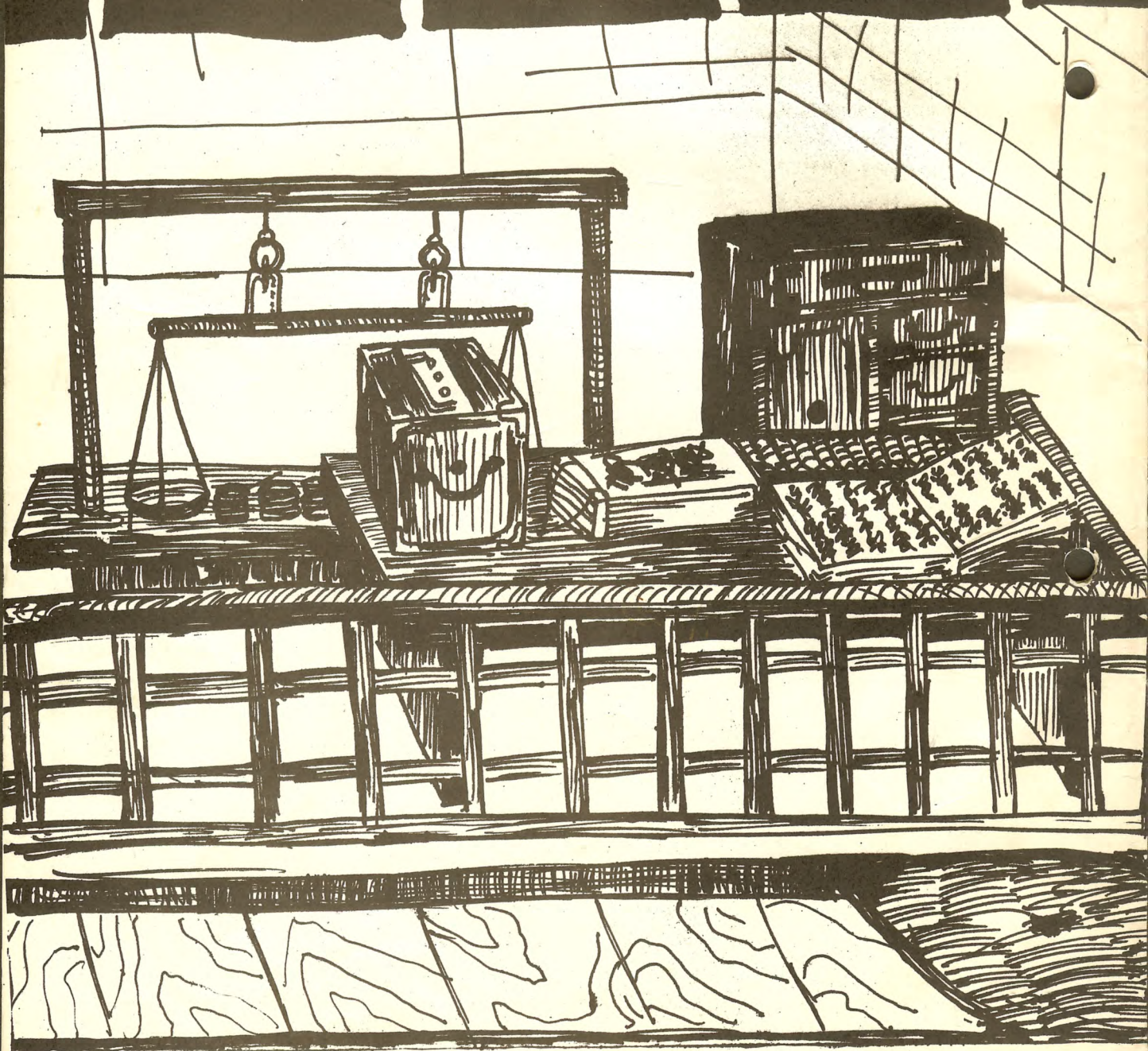


あすなろ

創立拾周年記念特集



郷土を愛し 仕事に徹し 人と和す

目次

想い出のアルバム (1)

あすなろに励まされて 梶 正義 (4)

創 草 期 手林 俊夫 (5)

起 点 の 思 考 最上 勇 (6)

十年ふり返って (座談会) (8)

あすなろ会員紹介 (10)

編 集 後 記 (14)





思い出のアルバム

上は五周年記念
下は一日自衛官





楽しいクリスマスの集
いや野外で親子ともど
も無心に……
こんなところにあすな
ろの人間関係が生まれ
ているのでしょう。





北見に学び根室で学びそ
して昨年は帯広で……
北見では菊祭りを帯広で
はあきあじ祭りをレクに
出ましたが
根室では皆な声をそろえ
て「島を帰せ」と絶叫し
たっけね。

男の匂いのムン／＼す
る兵舎で、男同志が契
りを固める荒修業……
日夕点呼で、はしなく
も遠い初年兵の頃を想
い出しました。



あすなろに励まされて

梶 正義

地球の回転が急にスピードを増したような昨今、こんな状態を多様化時代と人々は云うのでしょうか。兎に角世相は複雑化して、硬直した私の白髪頭では対応し切れない此の頃の日々であります。

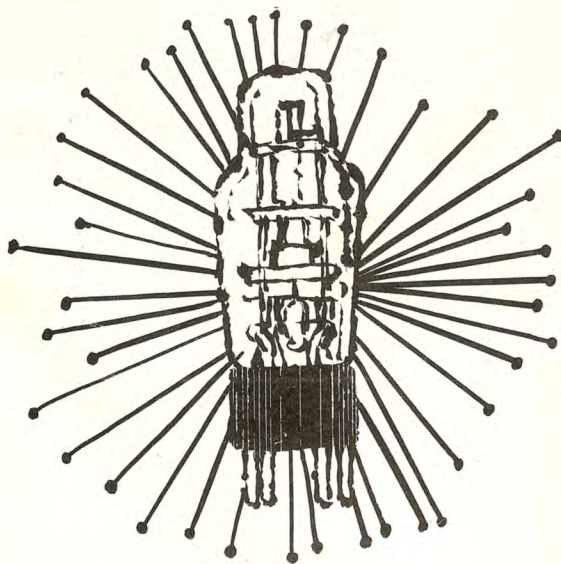
そんな私が昨年の総会以来、五代目の会長を仰せつかり然かも記念すべき拾周年の会長の椅子を汚し本とうに恐縮して居ります。私は就任以来「原点に帰えろう」と呼びかけました。

本会の創立当時と現在では社会の変動も著じるしく、原点復帰なんてナンセンスという蔭の声もあつたようですが、私の言いたいことは此の会がどうして結成されたかを今一度、皆で確認しあつて、その精神に則つて本会の運営方向を定ようということであります。

そのためにも今回挙行される拾周年記念式典の催しは大変意義あることであると思います。

本誌にも先輩各位のご登壇を願つて、限られたスペースですが、往時を語っていただいたり、今後の指向する道標を語っていただきましたが、本とうに参考になりました。

今、明日帰国されるという横井さんのニュースをテレビで見えています。孤独の二十八年間を過ごされた横井さんの第一報を目に耳にしたとき、私は、フト次の二つの疑問を強く抱きました。果して横井さんは日本語を覚えていたのだろうかということと、孤独の苦しみに気はフレていないだろうかということでした。



何故なら話す相手がいないければ、語ることもないであろうし、タッタ一人ポッチで生きていく事の淋しさ苦しさ。私達多勢の社会で生活していても、事業や生活の狂いの中で、孤独感にさいなまされて逃避の死を遂げる人の如何に多いかを考える時、そんな結論的疑いをもったのです。然し横井さんは私の杞憂を吹き飛ばし明日32年ぶりに故国の土を踏むというのです。本当に立派だと思えます。

私なら、とうに死んでいたいと思うのです。……そんな弱い私ですが、あすなろクラブの一員として皆さんのスクラムの中にいる時如何に勇気づけられ、如何にご指導にあずかったかを思い併せて、本とうにクラブの存在意義を今一度、高く評価したくなるのです。

今後は、此の私の体験なり経験なりが会員一人／＼に浸透するよう船頭役を務めたいと思います。

どうか、不行届の多い私ですが、その任務が完せる様、皆さんのご協力を仰いで取まとめのない拙文をこの辺で閉じたいと思います。

創設期を顧みて

初代会長 手 林 俊 夫

冬季オリンピックが札幌で開催された輝やかしい昭和四十七年に「あすなろクラブ」が創立満十周年を迎えた事は意義深いものがあり、真に喜ばしい次第です。発起人の一人として亦非才の身でありながら、会員各位の絶大なる御協力により初代会長の責務を全う出来ました事を衷心より感謝しつゝ、創立当時のことを振り返って見たいと思います。

十年前の昭和三十七年は朝鮮動乱により好景気であつた日本の経済界も前年頃より下降線をたどりつゝ、あつた時期です。そのため企業間にあつては御多聞に洩れず、シェア争いや、販売競争が激化し一方では中小企業の倒産が相次いで起つた時であり、われ／＼営業マンとしては情報の手が最も必要でありました。

このような情勢下のときに、今田英三君や佐々木政勝君と逢う度に、営業マンのグループを作り、お互に情報を交換し合い、当面の問題や、将来起り得る問題を討議し、亦販売技術の向上、経営に関する問題点等に就て研修会を開いて、ゲスト或は会員によりお互に勉強しようではないかと云う事になり、私と今田、佐々木の両君と三人が発起人となり一業種から一名と云う事を基本として、各業界の友人や知人に呼びかけたところ、十九人の賛同を得て、三十七年

二月十八日創立総会を開き発足いたしました。会の名称に就ては会員諸氏から沢山の立派な名称が出されましたが、あすは桜になろうと真直に天に向かつて伸びて居る「あすなろの木」にちなんで「あすなろクラブ」と名付けられました。例会は毎月一回昼食時間を利用してレストラン泉屋でライスカレーを喰べながら自分の業界の話や商売上の参考事項を、会員が交代にスピーチしました。亦「吾等は郷土を愛し「仕事に徹し」「人と和す」と云う三つの信条を作り会の方向付をしました。それと同時にクラブのバッチを会員からのアイデアにより作りました。

当初より昼食時間を利用して居た例会も一時間では充分に目的を果たすことが出来ないもので一年後から夜開催するようになりました。会員の数も増え分科会や部会活動も年々活発になり、役員、会員の強固なる団結の下に益々発展して居りますことは真に喜ばしい次第です。研修会や会員の発展による勉強の他に会員相互の親睦を深めるために、家族クリスマス会や野外リクレーションも大きな楽しみでした。昭和四十二年に満五周年式典を盛大に行い、今亦満十周年を迎えてあすなろクラブが今後益々発展するよう大いに頑張ろうではありませんか、会員各位の益々の御繁栄と御健康、御多幸を衷心より祈念して止みません。最後に満十周年歩ゆんで来たあすなろクラブに対して御指導、御鞭撻頂きました皆様方に衷心よりお礼を申し上げますと共に今後共倍旧の御支援をおねがひいたしまして創立当時の思い出を終らせて頂きます。

起 点 の 思 考

最 上 勇

「今年は経営者も中堅幹部も昔日の駆出しセールスマンとして入社時の一年生になった時の気持ちで心機一転を期さねばならない年かと思考する」此の記事は十年前のクラブ創立総会案内状の一文です。当時の経済不安からくる当然の主張なのですが現在の不況下を見ると十年と云う年月の隔たりを感じないのは私ばかりではないと思います。クラブが一二〇回の例会を数え十年の歩みを残し更に前進の計路をとる基点にある今日、十年間の過程にメスを入れて今後の指針をさぐる上で大いに利用されんことを願う訳です。此の事は二代目と五周年当時の事務局長でもあった私のなすべき義務ではないかと思ひます。

釧路市内で営業にたずさわる者にして一業種一名を原則とする（会則第五条一項）十年変えることとなひ会の本質のもとに発足した当時の会員構成（図1）を見ればお判りの通り当時の中小都市卸業者が経営不安におびやかされ何かにすがりたいと必死になつてもかいていたことが推測されます又会の創立が卸会員によつて進められ卸会員中心に運営が行われた事を知る事が出来ます。十年後に（図3）構成分布は一応バランスが保たれ安定した感があります。二〇名によつて出発したクラブが十年後に四十三名と会員数も増加し更にバラ

スがとれておると云う事は会員のたゆまない努力の現れと思います。こゝで一つの問題は全員数の限界をどこで切るかと云う事です。いくら一業種一名が原則だからと云つても、組織力におのづから限界が生じて参ります。（図4）は発足当時の組織です。極力簡素化を図り全員討議の例会中心にクラブの運営をもつて行つた当時の役員の熱意がうかがわれます。今年度総会に於て梶会長がいみじくも主張した「原点にたち返る」と云う事の真意は会員の総意が会運営に充分反映されておらない面を指摘されたものと推測出来ます。そこで（図5）は現在のクラブの組織図です。組織図を見て常識的に考えられる事は多様化すればする程ポイントに指導力企画力が要求されて参ります。従つて現在クラブ運営の中心が例会にあるのか部会にあるのか役員会にあるのか考えられる面が出ております。会員数の限界とともに充分討議しなければならぬ時期にあると云えます。

出席率は発足当時の昭和三十七年三月から三十八年二月迄の一年間八十三%（図6）昭和四十六年一月から同年十二月迄は七四%（図7）と十年間に約一〇%の低下です。特に五月から十月迄は各産業が一斉に始動する関係もあつて出席率の低下が目立ちます。何とか全円に近い線が常に描かれ

る様全員に求めたいものです。

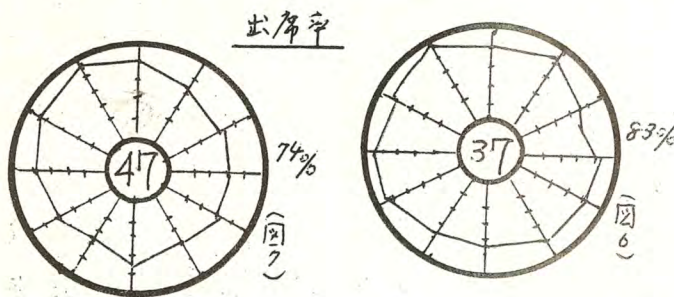
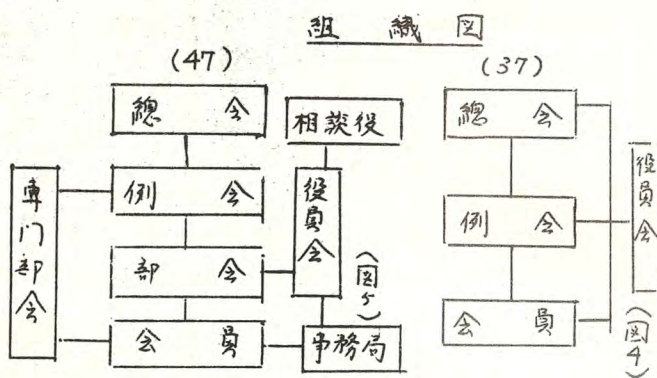
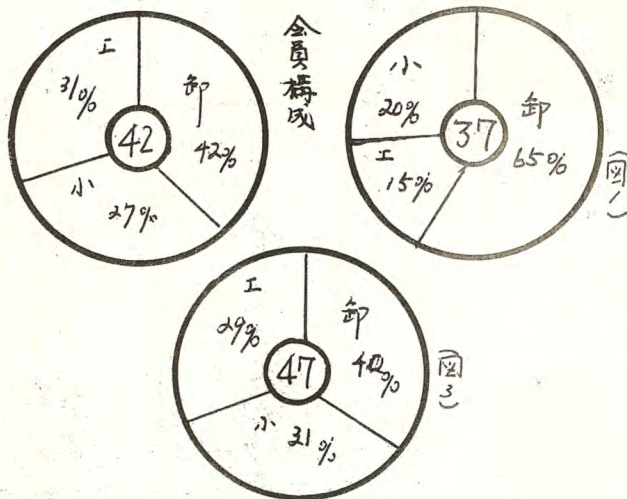
次に近頃会員間でクラブの老化が云々されております。十年の積み重ねしかないクラブには伝統もありませんし、云はいる基礎づくりが終つた段階ではなからうかと思ひます。老化とは吾々が経営力を失ひ企業活動から去つた時、所謂現役を去つた時点で指摘されるものと思ひます。そこで一応平均年齢と会員指数を求めたが（図8）です。私がクラブは基礎づくりが終つた段階であると言ふ要因は実はこゝにある訳です。平均年齢四十四才会員指数一、〇五の数字をあげることが出来ます十年前の平均年齢三十七才会員指数一、八七と比較した場合今はまさにエンジンが始動したばかりの姿と云えます。五周年記念パーティーの席で祝辞をいただきたい釧路新聞社片山社長の言葉を思い出します。『さしたるビジョンがある様にも思はずサロンのな集団なので何等かの要因で崩れる可能性があると見ていたのに五年も続いたとは驚きである』私は片山社長様に皮肉を申し上げる気持は毛頭有りません。会員個々が此の忠告を素直に受け止めて幾度かの障害を共々乗り越つて一〇年を迎えた訳です。そこで研修団体としての動きの分析しました（図9）全体の流れとして三ツに区別出来ます。先づ初期の三年は組織固めにそのエネルギーを集中した感があります。会員同志の経営状況の内容発表、相互購売運動、信条の制定、シンボルマークの作成等熱気がむんむんとあふれ全く躍動の感満ちあふれるばかりと云うところでありましたが、中期に入るや、反省が現れたと云うべきことは一応落ちついた段階で、地道な勉強をやり度いと云う会員の希望が多くなりゲストによ

る教養や部会による経営研究、脱落会員の救済或いは労力組合法の研究、交通法規の集団受講、中堅社員講義等目立たないが実のある活動が続いたと云えます。

後期の三年は行動の期間であった事ははっきり訳ります。クラブの運営は単年度毎に区切られておるにもかゝらず積極的に「動」の体が三年も続いたと云う事は正に特記すべき事と思います。郷土釧路を離れ外から釧路を見つめて考へようと言う素朴な願いではじめられた近接都市訪問は数

多くの教訓を吾々は受けた訳です。釧路祭りの協力みこし渡御の編隊指揮、緑一ぱい運動の協力、いはい当然の事をなした様なものですが此の三年は動きが目立っていた感があります。此の十年を大別すると人力の三年、蓄力の四年、出力の三年に別けることが出来ます。必然な流れですが単年度毎の計画運営が三つの段階に分けられると云うところが面白く感じます。クラブが更に成長する上に解決しなければならぬ幾つかの事柄が浮きぼりされたと思う訳です。

提案として考えていた、き度い事の一つに目標を造り年次計画で会を運営しては如何なものでしようか例えば、情報化時代に即応した経営をなす上で色々な報告業務、管理業務、分析業務と云った多様化したものが多くなりつゝ、あります。此の様な複雑な業務をクラブが代行する。そのためには五ヶ年計画位の的をしぼって研究立案の時期に来ておるし会員個々の協力も充分保られるものと確信する訳です。問題提起の段階ですが、十年間顧から得た私の結論です。



平均年齢と会員指数

	37	42	47
平均年齢	37.4	42.3	44.0
会員数	20	35	42
会員指数	1.87	1.20	1.05

初期 組織
中期 教養
後期 行動

(図8) (図9)

座談会

10年をふりかえって

想い出のあれこれ

そして今後の進路



司会 本日はおいそがしいところお集りいただきありがとうございます。
ご案内のように此の度び本会創立拾周年を迎えるにあたり
記念誌を発刊する事になりましたが、昔からよく温故知新というでしょう。そこ味において、歴代会長及び事務局長の皆さんのお話しを伺い、本会のバックボーンというかその様なものを後々に伝えたいと思います
創立当時は二十名足らずで出発した会でしたが、今や四十二名にふくれ上っておりますからね。では創設時を代表して手林さんからお伺いします。あなたは発起人の一人であり又本会初代の会長ですから種々想い出があらうと思いますが、二月十八日設立総会以前の暗中模索時代からお伺いします。



手林 そうですね。昨日連絡をいただいて古い資料をさがしたのですが、前の会社を辞める時に、どこかえしまいかんだらしく、見当らないので、こに今田さんもおいでになりますから、誤りは訂正していただきます、補足してもらふことにして、手もとの資料に基いてお話し致します。昭和三十七年といえは特需景気（朝鮮戦争）も終って、国内の景気も鍋底といわれ、丁度、今の国内の景気と似ていましたね。兎に角市内の老舗といわれた店も幾つかは姿を消していくといった状態でしたからそんな時、初代の今でいう事務局長、当時は庶務会計といっていたんですが佐々木政勝君がセールマンクラブを作って情報交換しよう云って来たんで



初代会長 手林俊夫
二代会長 横地重幸
三代会長 儀政夫
四代会長 今田英三
二代事務局長 最上勇
三代事務局長 稲垣友則
四代事務局長 安藤昭二
司会 梶正義

その様な気運は既に熟していたんで今田さんと相談し当時二十五社の営業マンのエースを選んで呼びかけたんですその結果一九名の賛意を得て二月十八日十一時三十分より灘万の一室で結成総会を開いたという事なのです。
司会 私もその席上におりましたが、あの結成総会を開く迄、種々の動きがあったんでしょう。
今回、別に大した事はなかった様に記憶していますが、今、手林さんが云った様に、あの頃としては大変な時期でしたからね。方々でやはり同じ様な企画。あったんですよ。太平洋の出入り業者はそのグループで又開発出入りの人達はそれらのグループで、私も当時は第一線で飛び廻っていましたから、チョイ



／その様な誘いを受けていました。いうなれば自然発生的とでもいうんでしょうが、佐々木君もアイデアマンだったのが熱心に相談してくるんで、ではという事になったんですよ。そして発足迄のプランを樹て原案等をつくって二十八日に臨んだんですがね、当初は昼食の一時間を情報交換の当て週一回集ろうじゃないかということでしたが、種々論議の末月一回の集会ということになったんです。
司会 そうすると当初は市場の情報交換が目的だったんですが。
手林 そうです。それと親睦と相互購買という事でしたね。
司会 当時の役員構成は？
儀政 初期の会則を見ると会長一名副会長一名理事三名庶務会計各一名となつてはいるんですが、
会長には手林、副会長には今田、理事には経堂さんと梶さんだったかなそして私と良く記憶してないが引き続いて第一回の役員会を二月一日ファスト（末広町）というところで11時30分から行っているんだな。そのメモバーを見ると、手林、今田、経堂、佐藤、梶、佐々木（政）儀政となつてはいるんだから、初代の役員はこん

などここで運営したといえんじやないかな。

司会 その第一回の役員会では何を論じているんでしょうかな……

今田 あの時はいずれの整理だとか、会員勧誘なんかの主な議題であつたと記憶している。そして集会時間が日中で僅かだから、遅刻してきたものには罰金を取らうなんて話が出たよ。

横地 あすなろ献金の歴史だな……

司会 設立総会的の第一回例会は記録によると三月二十四日正午よりレストラン泉屋で開いて居ります。この時には出席一九名となつて居りますが、横地さんはこの時、いらしていませんよう。



横地 どうかな、余り記憶にないが私は佐藤さんに誘われたんで、その時は出席しているんですよ。とに角あの頃は目新しく、そして若さが溢れていてとても気持ちの良い会だったと思つた。

そして皆なマジメに勉強したね。その年の五月二十四日には三部門（研修・広告宣伝・企画）でそれぞれB5判八頁くらいの研究資料をまとめて、東映ホテルで発表会を行つているんだから実に精力的だったといえるネ……

司会 あの時横地さんは給与に就てと題し、約一時間に亘り講師をつとめられましたものネ……さて時間の関係上先を急ぎます。古い話はこれ位にして、拾周年を起点として今日は如何に在るべきかを論じていただきましよう。

最上 私只今あすなろ拾年の歩みをまとめている最中ですが、会の流れを次の様に分類することが出来ると思ふんです。創立から初期の三年間は組織固めに全力を傾注



五周年を中心に教育の期間であつたと思ふんです。たとえば初期の頃は僅かな人

々の集いを大きな輪にしていくなに懸命で、そのため随分いろいろな行事を間断なくやつてますね。これというのも結局は組織固め、あすなろバリヲを昂めるためだったんです。中盤は、会員の新陳代謝もあつて、体質の検討やら組織の再編等に重点がおかれまして。結局一ツの壁を突き破る苦悩の時代といえるかも知れませんが……今後は梶会長は原点復帰といつて、がその様な反省に基いた活動が必要だと言へると思ひますね……

司会 では具体的に今後はどうあるべきか、何をすべきかについて、稲垣さ

らうぞ。

稲垣 私は三代目の事務局長というこ



とで儀儀さんと組んでやつてたんですが、あの頃、今最上さんの言つた様に五周年も終えヤレヤレといった。いう

うのでしようか、一つの倦怠期の時期で苦労しました。とりわけ、年中行事に至つては決定的にその感がありま

した。夏のレクにしても当初の頃から見ると参加パーセントが落ちてきましたしね……結局、家族構成も変化してきている事だしという事で、クリスマス家族パーティーだけが、今も引き継がれている事になつてしまつた訳で、今後は若い会員も随分ふえている事ですし、この新旧会員の断層というものに留意しなければならぬと思ひますね……



安藤 郊外で行つた家族ぐるみのレクリエーションが無くなつた事は実に淋しいね。家のワイフなんか、とても楽しみにしていた行事ででしたからね。クリスマスパーティーだとやはり気が重たいとい

うんです。着ていく衣粧にしても女らしい気を使うんですね。その点、野外ですと、そんな気づかいもないし大自然に浸つて皆な大らかに楽しめるでしょう。そんな美点は太いに今後継続していつてもいいですね。それから、私やめたんだけれどビール会も最初の頃は内輪だけなんで呑めない池ちゃんも皆な入つていたんです。が、何時の間にか……こんな事言つて叱られるネ、でも何か堅い会の集りだけでなく会員皆ながたのしめる何か欲しいですね。

司会 横地会長時代私はその副でね、会長も同意見だったんですよそれで研修は研修、飲む時は飲む言うなれば良く学べ良く遊べという事でビール会も作つたんだが、後半安藤さんの抑言の通りになつちやつてね申し訳ないね野外レクの中は、今年の計画の中には非入りたいと思ひます。

横地 拾周年を契機に、新旧の交替時機だと思ふよ。先程誰かが言つた様に会員間に断層の起きない様に、初心忘るべからずでやりましようや。手林 その通りですね。若い人達の積極的な協力を望みたいね。そして初心と言へば、会員間の親密度を増す深め相互購買（会員は会員の店から買い合ふ事）なんかはその起点ですね

会員の素顔

順不同



夫 会創立の立役者、本会の基礎をガッチリ作った初代会長
俊 眼のせまさに比較して顔の広さは会随一、昨年故あって安
林 本会物株式会社長付副長として新しい分野に意欲的、好
安 漢の成功を祈る。必らず何かを求め、そして自己葉巻中の
ものとして実現する男。



幸 戦時中は歴戦の勇士、今尚その風手を残している。会にお
地 いては年齢も加えて大御所的存在、運営にかけては常に正
横 論を持し一糸乱れぬ統率力をもっている人、といつてこわ
い人に非ず、話のわかる親父といった感じ。二代目会長と
して会に更に年輪を加え、今日の会までのし上げた人。一
方青果業の雄として日夜釧路経済界の為精進されている。



夫 履歴にある通り釧路ヨコハマタイヤ社長、冬はスノータ
儀 イヤ、春から秋にかけてはグリーンと終始休まず奮斗、人
の和を尊重し、常に変らぬ人情味をもって人と交り、その
滋味あふれた人柄は三代目会長として中興の礎をきづいた
一面経営手腕また抜群、そして若さを持続する人。



三 夫 リビングヤスモトの副社長として東奔西走除々に成果を
田 あげている由、兄の為祝福する。会創立の立役者として会
リ 育成にかける情熱は人一倍、アイデア抜群、常に新しいカ
ビ ラーを持込み推進力となる人、此の人も又人の和という事
を常に念頭において人情味あふれる事は有名、健康に留意
されて事業とクラブにますくの健斗を祈る。



義 正論居士、一面強烈な性格の持主に見えて実は内面これは
梶 と思う様な柔和な面もある。彼の魅力は付合った友なら絶
対はなれない。人の面倒はよく見る人。中央に出したら一
方の旗頭になれると見たが、如何？ 現会長として大いに
力量を発揮される様祈る。一方事業の印刷業にも新風を吹
き込み雄たらん事。好漢須らく実力を充分に発揮せよ。



雄 釧路時計貴金属組合会長、あすなるクラブ現副会長、最近
小 林 久 雄
小 林 時計店
とくに頭より内容に磨きがかって来た。何時までも年をと
らない万年青年、とつくと語り出す彼の論理には一目お
く、池ヶ谷会会員同様女房孝行、娘孝行の一方の雄、家庭内
満型が常に彼の身体からにじみ出て、誰にもくまれない
誠に実のある存在。笑顔は彼のモチーフ、何時までも。



旭 建材業界の雄、川田商店の社長として内部の充実に常に
川 田 春 旭
川 田 商店 (株)
心を燃やし外に出ては業界のまとめ役として大活躍、彼が
苦がい顔をした事は見た事がなく、誠に腹の大きい人物で
ある。又現副会長として梶会長の誠によき女房役積極的果
敢な運営ぶりは月一回の例会を大きく実らせている。好漢
ますく健斗されたし。



勇 新事務局長、若手ホープの一人、奥さん共々に薬店と喫
森 下 葉 品
森 下 葉 品
茶店を経営する中々の実業家、此の人も又若さに似合わず
事を処理するにソツなく且温厚篤実型、会にとつてうって
つけの事務局長である。又家庭医学をユモアに語り出す
あたり職業柄的を得ているといながら研究心の旺盛さを
物語っている。将来を期待される一人である。



高橋 力
 計算にかけては抜群、北海道優秀企業のほくさんの釧路の次長としての職務が彼を計算にズバ抜けた才能を植え付けたと思はれない。生来のものであろう。そして又人心を握ることも妙を得ているといわれる。それは彼の一面にある篤実な性格を物語っているものだろう。会における特異な存在の一人でもある。



米田 慶
 塗装業者のリードマン。それだけに内に秘めた闘志は満々たるものがある。子弟の育成にも心を注ぎ塗装業界今日の発展に寄与するところ大。又北日塗装を今日あらしめたのも彼の努力に負うところ大と聞く。体軀に比例し心も大きく友情に感ずる細やかな神経ももち合せている。ますく努力され天下の米田 慶になる事を切望する。



室本 義信
 真面目であり、そして角がなくつて人を裏切る様な仕種はみじんもなかった人、おそらく彼の生涯そうであろう。それが証拠に家業を着実にのばしている。地味な存在ではあるが現代社会において得難い人の一人であると信じている。又此の人間会を愛し友を愛する人も少ないだろう。



佐川 昭
 温厚篤実な経済人、そして又何んでもこなせる活動家でもある。筋金の通った理念は表にこそ現はれないが打つべき手は必ず打ち、その手は必ず成功の道に通じている。仕事の虫であつても家庭にあつてはよき夫、よきパパであり、一年一度の家族パーティーに一家揃つて必ず出席する模範的家庭を作っておられる。



最上 勇
 山椒小粒ピリリと辛い、あの体軀からどうしてあのエネルギーが出るのかと疑いを抱かせる程の活動家でもある。又大きな会の進行を委せたら右に出づる者なし、秒読み段階からはじまる彼の力量は衆目一致するところである。彼の会に対する貢献が現在の会の存続そのものであるといつて過言ではない。博識、アイデア共にそれ自体の彼である。



多賀 輝男
 この人と冷凍食品は何かマッチしないような感じをうけるが現在のように人々に冷凍食品が膾炙されたいころより専門店として発足した先見の明をもった人である。それでいて意欲的であり例会の場においても常に何かを吸収しようとしている努力が彼の考えや意見から散見される。研究心旺盛。いわゆる癖のないやわらかな一面をもった人。



宮地 良彦
 宮地菓子舗の御曹子、会員中の最年少者、入会一年で事務局次長について大分苦労もしたらしいが勉強にもなった事と思う。スポーツマンだけに態度は明るく素直な近代的な好青年でもある。三代目ではあるが先代、そして現在の社長をも凌ぐ経済人になる事を期待している。それ丈にたゆまぬ努力と精道を重ねていく事を会員すべてが祈っている。



岩田 守
 室本会員同様特異な存在の一人。謙虚な態度、篤実な姿勢は私共が模範とするところ。それが現在の板金業界の雄であることを物語っている。仕事に対する研究心の旺盛さ何持のまにか経済的にも豊さを伴っている。本会員としても古参。物静かなだけに目立つた存在ではないにしても欠くべからざる人である。



横山 寿人
 化粧品小間物を取扱っているとはいいながら誠に人ざわりよい人である。元来人ざわりのよい人というものは一面癖をもっているものであるが彼にはその片鱗さえない誠に真面目な性格の持主である。昨年の家族パーティーに於けるサンタクロスの演技は、この人がと思われる様な名演技を披露した。フランスの香水の如きよい雰囲気をもつて人



本間 鉄男
 十条サービスセンター取締役営業部長、企画力抜群、頭脳明折、その頭脳から飛出してくる思考が即営業に結びつく、その一面人の気をそらさない柔かさをもっている。会の厚生面に於けるデリガシーなアイデアは常に新鮮なものへと会員を誘導している。入会間もないとはいえ将来大いに期待出来る人である。



最 歳 (株)
重厚なそれでいて仲々機敏な動き、彼の様に口数の少ない会員も余り少ない。それでいて発言する時は常に的を射ている。商売が交通信号機等を扱っているせい。頭の中のゴーストが規則正しく働くのであろう。今後会の運営に大いに貢献出来る逸材である。希くば積極的に運営に参加されん事を……。



男 (株)
此の奥にマナコありと言えば叱られるかも知れないが、税角な広い額いその下に谷ありその魚にケイ／＼と光る鋭い瞳がある。このにらみ、数多いハイヤー乗務員をふるえイ上らせている金星の業務部長、且つて組合活動も経験、それをフルに生かしてのニラミである業績上るも無理からぬ金事。本会でそのニラミを利かす日も間もない事であらう。



勉 (株)
いかにも彼の為にインテリゲンチャという言葉がある様に、その所作は応場品がある。北日本石油の出張所長である。まだ若いのに大変なポジションであるきつと将来大物になるであらう。大いに期待のもてる人物。本会のために、その英知を注いで、何時迄も澁刺としたあすなろにしていたきたいものである。



政 (株)
とかく言論多発になり勝ちな例会においても一人人口数少なく静かに聞いて取捨撰択するといった自重派、それでいて仲間間のつきあいはよい方、自動車の修理或いはそれに関連したことにについては松田会員同様のベテラン、余り目立った派手なところはないがむしろ将来のホープとして期待出来る信頼度の高い人である。



幸 (株)
ビル管理のベテラン。大きなデパート、ビルの清掃その他管理について此の人の手はかからないところはないだろう。職業柄なかなかのダンディである。といっても気障ばさのない厭味のない人である。それとトレードマークの笑顔。すべて清潔を旨とした美装という仕事にマッチしたもののムードを常にふりまいている。



次 利 貫 綿 (株)
須貝紙店



義 一 薮 (株)
三立機電



雄 敏 田 太 (株)
ダイカ



雄 政 部 渡 (株)
渡部商店



要 山 片 (株)
片山商店

株式会社綿貫紙店の総務部長として後輩の信望を一身にあつめている。各業界を通じてのセールスマンとしては最古参。現在でも巨軀をおしみなく動してセールスに身を挺している。温厚篤実、ファイトマンにあり勝な尖鋭的なところをよくセーブしてまろやかな人格者、交際も広いところは彼からはなれ難い魅力を充分にもつている故であらう。

企画力抜群。それを実行に移す事においても積極果敢なところ仲々のファイトマンである。名門日立の一方の旗頭として短期日のうちに頭角を表わして来た。世話好きな事でも有名。知らぬ間にこの土地に古い我々仲間よりも新人を発掘して紹介する技は誠に妙を得ている。…… ただ好漢自重して益々奮斗する事を切に望む。

ダイカの営業所長、橋本社長の指導よろしきを得て充分に実力を発揮している。この人程礼儀正しい人はいないだろう。とかく長年つきあっていると押れから気易きからつい粗雑になってしまふものだがこの人の礼儀正しきは何時も変わらず会員随一のゼントルマン。この人の持味にプラスしたものが今日の彼を作ったんだらう、有望株である。

北大通の老舗渡部金物店の社長として地盤確保、組織作りに力を注いでいる一方業界に關係した事業にも積極的に加担するといったエネルギーな人、それでいて温厚篤実仲間の敬愛を一身に集めている。会に於いても正論を堂々と披歴し会の進展の推進力ともなっている。他方酒脱な一面もあってスケールの大きさでは一方の雄である。

共栄大通は片山家具センターの御曹子、専務として力量は又若さに似ず仲々の実力家、優秀な系累からくる血筋のよさはその人柄ににじみ出ている。新会員なのでまだ会員になじみが少ないので少数の人しかこの人を知らないが、時間がたつにつれこの青年の良さがよく理解されるだろう。精進によつてはこの人達が将来会のリーダーとなる事請合



雄哲 (雄) 村商 (村) 瀬島 (瀬) 数島 (数) 会 (会)
 会の唯一のジャンボ型、身体ばかりでなく心も大きい。彼を評して中国の三国志に出てくる関羽を連想させると言ったのは誠に適中、人情深く友を愛し会を愛するにおいては人後におちぬ人、又酒を愛することにおいても随一は仕事も手伝っているか何しろユニークな存在の一人、好漢ますく腕を磨いて業界の為健斗されん事を祈る。



栄一 (栄) 谷商 (谷) 池ケ (池) 池谷 (池) 自転車 (自) 商會 (商)
 釧路自転車業界のピカ一、趣味は親孝行、女房孝行、娘孝行、会にあつては名プランナー、今田会長時代の事務局次長としての手腕は安藤事務局長と双壁、瘦身から進出するファイトはこれ又追隨する者なし、これだけ備っている人にも一つ欠けたところあり。それは酒を嗜まげ、まんじゅうに手を出すところ。しかしこれも彼のいいところかな



雄二 (雄) 木商 (木) 佐々 (佐) 小西 (小) 佐々木 (佐) 商店 (店)
 真面目人間がびったりの人。それだけに時として人と真向から議論を斗わすきびしい一面もある。といつて狷介にあらず人の言葉も素直に聞き自分のものとする消化力も又大、南大通り老舗の店主として数少ない業界を守る事について常に努力している人。家庭にあつてはよき父よき夫よき伯父とは誰かが認めている。少数貴重な正統理論派。



敏男 (敏) 沢建 (沢) 小札 (小) 札幌 (札) 材社 (材)
 会の最年長者、ものやわらかい態度、深く物事を考え、言葉少なの中に真実味あり、それと最近特に滋味を加えて来た貴重的な存在、混乱した議事も最後は彼の一言でけりがつく。三代目副会長、札幌建材社の常務として同社の道東に於ける活躍は一にかかつて彼の手腕に負うところ多いと聞く釧路生れの誰よりも釧路を愛する事此の人においてなし



郎六 (郎) 藤商 (藤) 佐藤 (佐) 商店 (店) 佐藤 (佐) 商店 (店)
 十年前も六チャン、現在も六チャン。彼と友達になれたことを誇る人多し、彼は一種の風格を主、会のスローガンの人の和という言葉をそのま、彼に当はめてもよい、よき夫であり、よき父親である。寒き日彼の店から買った履物をはいたとたんホノボノとした暖さが全身を通う。実に得難い会員の一人である。



敏水 (敏) 水商 (水) 武清 (武) 水清 (水) 会 (会)
 この人も三期生、猪突猛進型、といつても理論を内に秘水めての前向姿勢型、若松町の今日の発展も彼の双肩に負う武清と大なりと聞く。その情熱、企画力は抜群、又会の移り変りに常に神経をつかいよきグループの発展を念づる余り虚心坦懐に意見を吐く好漢、奥さんが又傑物婦人教育委員であること周知の事。



垣田 (垣) 橋商 (橋) 稻三 (稻) 橋本 (橋) 商店 (店) 会 (会)
 入会三期生の一人、多少短気なところがあるが節を屈けない芯の固さがある。それでいて会の誰とでもよくとけあ友店っている。商才、企画力、抱負、共にピカ一、会の演出家本彼のかなでるメロデーによって会は運営される。三代目事務局長としてその手腕を発揮、儀役会長、小沢副会長と共に会の推移に貢献した功績は誰しも認めるところ。



山下 (山) 進カ (進) 山下 (山) ラム (ラム) 組 (組) 更 (更) に (に) 前 (前) 進 (進) し (し) よ (よ) う (う) と (と) す (す) る (る) 意 (意) 欲 (欲) が (が) 羨 (羨) ま (ま) し (し) 程 (程)。
 入会する時彼、開口一番釧路で最も新しい最も小さなカラメラ店と称していたが、昨今はあれよ、あれよと見る間に業界一の販売店に上昇、顔に似合ぬデリケートなセンスがその実行力と相俟って現在の地位に至ったと見る。この人下の営業スタッフが又よい。奥さん、娘さんどがっちりスタラム組んで更に前進しようとする意欲が羨ましい程。



昭二 (昭) 藤印 (藤) 安藤 (安) 安藤 (安) 象 (象) の (の) う (う) け (け) る (る) 程 (程) 愛 (愛) 妻 (妻) 家 (家) が (が) ほ (ほ) と (と) ん (ん) ど (ど) で (で) あ (あ) る (る) の (の) は (は) ど (ど) う (う) し (し) た (た) わ (わ) け (け) か (か) 一 (一) 面 (面) 酒 (酒) の (の) つ (つ) き (き) あ (あ) い (い) も (も) 充 (充) 分 (分) す (す) る (る)。
 釧路最古の印章安藤印舗の常務、書道の大家、物やわらかな学究肌の人、彼をして会総務を見れば商売柄ハンを捺した様な正確な仕事をする。此の人も又愛妻家、クラブの中藤印で愛妻家でないものは最低の人間としか扱われない様な印象のうける程愛妻家がほとんどであるのはどうしたわけか一面酒のつきあいも充分する。円味もある人。



忠一 (忠) 田路 (田) 松路 (松) 会 (会)
 一輕自動車業会の指導的立場にある彼。温和で口数少なく今日に至るも彼から烈しい言葉を聞いたことがない。しかし不思議な魅力の持主、実力を持てる人とは彼をいうのではあるまいか。静かな語りの中に時折我々の胸を打ち反省させる様な言葉がある。そして知らぬ中にその言葉が会の運営に姿を見せる。実に不思議なそしてよき友である。



安田 守雄
東家松浦分店

東家の松浦分店主人。年はまだ／＼若い、此の若さであ
れだけの所帯を築いた彼は非凡である。柔かい物腰しは根
っからの商人、だが一旦こうと云った後に引かぬ強い
面がある。だからこそ同業者の羨望を一人で担う商売が出
来るのであろう彼は流し敷そばの元租でもある。その柔軟
な知恵を本会に吹き込む日も、そう遠くはあるまい。



中川 章
中川鮮魚店(南)

背がすらりとして面長で眼鏡の底にギリリと光る精カンな
瞳、良い男です。映画俳優にだってザラにあるマスクでは
ない。それでいて酒色に溺れることなく仲々の勉強家であ
る。宮地事務局次長とはイトコ同志とか、会に入って間も
ないので遠慮がちで余り目立った発言もないが、今年は小
売部会の副を担当。好漢大いに若さを発揮せよ。



鈴木 昇
鈴木商会 (有)

常に柔和な笑顔で人に接し時に豪傑笑いをして、めんど
な事を吹き飛ばす。彼は本当の商人である。
子ぼんのような事は会員中随一を誇って良いのではないが、
例年クリスマス大会に家族同伴で、奥さんの来れない時で
も彼は子供さんを連れて来る。模範生である。マンシヨ
ンも店舗も立派なものを建てた。やはり模範生である。



石井 亮
石井商角(株)

丸三商角の営業次長、瘦身よく大店を支えるというにふ
さわしい御人。黙々と人の意見を聞いている彼のプロフイ
ルは知性の高さを匂わす。まだ入会間もないので実力発揮
に至っていないが、今や脱皮の苦悩を続けているあすなる
の明日を担う人に間違いない。

後 集 編

あすなるクラブが満十周年を迎え、過去を振りかえって
見てよく異質の者が集って互に心と心のふれあいを茲まで
続けて来たものだ誇りにさえ感じております。

この十年の中で、何を得たかを語らなくとも自然に友を
持ち真心が通じ合えるにまであつた事実には私は満足を感じ
ております。

さて十周年の記念誌を作成するに当り当初は増大ヘージ
の豪華版を出す予定でおりましたが、各々仕事をもちつた連
中なので意図するもの出来ず、このような小誌になつた事
をお詫びします。しかし編集を委任された人々が仕事の合
間に駄づり回り及ぼすながらも発行の段階にまでした努力
は買って頂きたい。十年一昔といいますが夢の様な気がし
ます。当初十数人に結成された会が現在四十数名にまでな
つたこの行程を辿つてそぞろ感無量なものが有り創立
された諸兄に心より敬意を表します、地道に一步／＼と歩
みつけた会員諸兄の努力の結成を心強く感じ、今後また
／＼の発展を心より望みます。

ドルショック、円切上げ、中国問題と国の内外は政経間
わす激流の如く一瞬休む間もなく変化しております。私達
企業にたづさわる者にとつて誠に油断の出来ない現在です
が試練の日々であるとも思います。此の秋に当り会員諸兄
の企業への努力と隆盛を心より祈念致します。

札幌オリンピックに於ける各国選手の日頃のトレーニング
の結集を今発揮している姿が心よく印象に残ります。

表紙、カットは今田兄の筆による、写真は池ヶ谷兄のウデ
です。



釧路市北大通 3-7 TEL 23-2461

 清 酒	いつでも どこでも どなたにも 郷土酒を名指しで す、めましよう 郷土酒・福司・千羽鶴を愛する会
 フグツカサ	



創立拾周年記念特集

昭和四十七年二月十八日印刷

昭和四十七年二月二十日発行

編集 あすなろクラブ拾周年記念

実行委員会

釧路市栄町二丁目（宮地会館内）

非売品

あすなろクラブ